平成26年９月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年２月６日

上場会社名　　アクセルマーク株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　3624　　ＵＲＬ　http://www.axelmark.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）尾下　順治
問合せ先責任者　（役職名）執行役員経理財務本部長　　（氏名）野口　仁　　ＴＥＬ　03-5354-3351

四半期報告書提出予定日　　平成26年２月14日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成26年９月期第１四半期の連結業績（平成25年10月１日～平成25年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年９月期第１四半期	866	△3.3	27	－	26	－	18	－
25年９月期第１四半期	896	△3.1	△28	－	△27	－	△30	－

（注）包括利益　26年９月期第１四半期　18百万円　（－%）　25年９月期第１四半期　△30百万円　（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年９月期第１四半期	4.30	4.20
25年９月期第１四半期	△6.97	－

（注）当社は、平成25年４月１日付にて普通株式１株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年９月期第１四半期	1,948	1,583	81.2
25年９月期	1,957	1,564	79.9

（参考）自己資本　26年９月期第１四半期　1,582百万円　25年９月期　1,564百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年９月期	－	0.00	－	0.00	0.00
26年９月期	－				
26年９月期（予想）		0.00	－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年９月期の連結業績予想（平成25年10月１日～平成26年９月30日）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	1,709	△1.0	29	－	27	－	14	－	3.20

通期の業績予想に代えて翌四半期の業績予想を開示しております。詳細は四半期決算短信（添付資料）3ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規　－社　（社名）　　、除外　－社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年９月期１Ｑ	4,370,900株	25年９月期	4,370,900株
②　期末自己株式数	26年９月期１Ｑ	－株	25年９月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年９月期１Ｑ	4,370,900株	25年９月期１Ｑ	4,370,900株

（注）当社は、平成25年４月１日付にて普通株式１株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続の実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットを取り巻く環境としては、日本国内におけるスマートフォン端末が普及拡大し続けており、MM総研の調査によると平成25年９月末におけるスマートフォン契約数は5,015万件で携帯電話契約数の42.2%（平成25年３月末時点から4.9%上昇）となっております。さらに、米IDC社の調査によると、2013年の全世界におけるスマートフォンの出荷台数が前年実績から約40%増加し10億台を超える見込みとなり、国内外においてスマートフォンは引き続き普及拡大しております。

また、スマートフォンやタブレットなどモバイル端末の普及を背景に、アプリケーションの利用が順調に増加しており、米Apple社の発表によると、iPhoneやiPad向けアプリストア「App Store」の全世界における2013年１年間の売上高が100億ドル（約１兆円）を超えるなど、市場環境は着実に拡大を続けております。

そのような市場環境の下、モバイルゲーム事業においては、「Mobage（モバゲー）」などにおいて提供しているブラウザゲーム、並びに、「App Store」などにおいて提供しているスマートフォンゲーム（ネイティブアプリ）の利用拡大を促し、ユーザーに長く楽しんで頂ける取り組みを実施することで収益確保に努めてまいりました。広告事業ならびにコンテンツ事業においては、フィーチャーフォン向け売上が引き続き減少する中、スマートフォン向けサービスの売上拡大に注力いたしました。

利益面については、売上拡大に必要な人材リソース等を確保するための採用活動は継続しつつも、サービス提供の運営体制効率化を引き続き推進していることにより、営業黒字を確保することが出来ました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高866,894千円（前年同期比3.3%減）、営業利益は27,524千円（前年同期は28,629千円の営業損失）、経常利益は26,600千円（前年同期は27,811千円の経常損失）、四半期純利益は18,773千円（前年同期は30,448千円の四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は次の通りであります。

（モバイルゲーム事業）

モバイルゲーム事業につきましては、「Mobage（モバゲー）」などにおいて提供しているブラウザゲーム「キングダムクロニクル」や「天空のレギオン」など既存タイトルにおいて、ユーザーからの根強い人気が継続しており、売上は安定的に推移しております。さらに、当四半期においては、人気タイトルのマルチプラットフォーム展開を推進しました。平成25年10月にdゲーム版「王様ゲームー共闘ー」、平成25年11月にmixi版「天空のレギオン」、さらに、平成25年11月にAndroid版「反逆のシエルアーク」をリリース致しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は486,146千円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は54,371千円（前年同期は6,143千円のセグメント損失）となりました。

（コンテンツ事業）

コンテンツ事業につきましては、スマートフォン向け電子書籍コンテンツ「コミックmini」の販売促進を引き続き行ってまいりました。その一方、フィーチャーフォン向け売上については引き続き減少しております。

以上の結果、当セグメントの売上高は139,647千円（前年同期比35.7%減）、セグメント利益は11,222千円（前年同期比58.3%減）となりました。

（広告事業）

広告事業につきましては、フィーチャーフォン向け広告売上が減少する中、スマートフォン向けアドネットワーク「ADroute」の収益向上に注力してまいりました。「ADroute」は、クライアントからの出稿ニーズの高まりを背景に売上を拡大させてきたものの、当四半期においては収益性を重視し、粗利益率の改善にも努めてまいりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は243,002千円（前年同期比19.4%増）、セグメント利益は17,589千円（前年同期比1.1%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が89,338千円増加したものの、受取手形及び売掛金が49,125千円、その他の流動資産が15,741千円、のれんが28,503千円減少したこと等により前期末に比べて8,852千円減少し、1,948,676千円となりました。

負債については、短期借入金の返済9,250千円、賞与引当金が19,308千円減少したこと等により前期末に比べて27,626千円減少し、365,552千円となりました。

純資産については、四半期純利益18,773千円の計上により、前期末に比べて18,773千円増加し、1,583,124千円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

モバイルゲーム事業につきましては、既存のロングヒットタイトルにおいて、ユーザーに長く楽しんで頂けるためのゲーム内イベント等の施策を実施することで収益拡大を目指しつつ、第３四半期以降にリリースを予定している新規タイトルの開発投資を行ってまいります。

コンテンツ事業につきましては、引き続きスマートフォン向け電子書籍コンテンツ「コミックmini」の利用者増加のための施策を推進してまいります。

広告事業につきましては、新規広告サービスの開発なども行い、スマートフォン向け広告サービスの収益拡大に注力してまいります。

平成26年９月期の業績予想につきましては、当社グループの事業を取り巻く環境が急速に変化しており、事業の成長速度を予測することが難しいことから、信頼性の高い通期の業績予想を算出することが困難なため、四半期毎に翌四半期の業績予想を公表させて頂きます。

平成26年９月期第２四半期連結累計期間業績予想（平成25年10月１日～平成26年３月31日）

売上高	1,709百万円（前年同期比1.0％減）
営業利益	29百万円（前年同期は７百万円の営業損失）
経常利益	27百万円（前年同期は７百万円の経常損失）
四半期純利益	14百万円（前年同期は15百万円の四半期純損失）

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年９月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	968,256	1,057,595
売掛金	497,586	448,460
仕掛品	3,803	―
貯蔵品	1,323	1,038
その他	34,995	19,253
貸倒引当金	△13,956	△12,896
流動資産合計	1,492,008	1,513,450
固定資産		
有形固定資産	23,987	23,537
無形固定資産		
のれん	371,555	343,051
その他	1,906	1,586
無形固定資産合計	373,462	344,637
投資その他の資産		
敷金及び保証金	68,071	67,050
その他	0	0
投資その他の資産合計	68,071	67,050
固定資産合計	465,520	435,225
資産合計	1,957,529	1,948,676
負債の部		
流動負債		
買掛金	210,702	212,386
短期借入金	9,250	―
未払法人税等	10,021	8,671
賞与引当金	35,511	16,203
ポイント引当金	12,228	11,651
その他	114,831	116,114
流動負債合計	392,546	365,027
固定負債		
その他	632	524
固定負債合計	632	524
負債合計	393,178	365,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	563,900	563,900
資本剰余金	1,116,770	1,116,770
利益剰余金	△116,518	△97,744
株主資本合計	1,564,152	1,582,925
新株予約権	198	198
純資産合計	1,564,351	1,583,124
負債純資産合計	1,957,529	1,948,676

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成24年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年10月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	896,468	866,894
売上原価	551,599	521,712
売上総利益	344,869	345,181
販売費及び一般管理費	373,499	317,657
営業利益又は営業損失（△）	△28,629	27,524
営業外収益		
還付加算金	－	98
事業譲渡益	1,428	－
その他	410	14
営業外収益合計	1,839	112
営業外費用		
支払利息	156	24
株式上場関連費用	803	965
その他	61	46
営業外費用合計	1,021	1,035
経常利益又は経常損失（△）	△27,811	26,600
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△27,811	26,600
法人税、住民税及び事業税	2,637	7,827
法人税等合計	2,637	7,827
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△30,448	18,773
少数株主利益	－	－
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△30,448	18,773

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成24年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年10月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△30,448	18,773
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	－	－
四半期包括利益	△30,448	18,773
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,448	18,773
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成24年10月１日　至　平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	モバイルゲーム事業	コンテンツ事業	広告事業	計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	475,661	217,300	203,507	896,468	－	896,468
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	20	20	△20	－
計	475,661	217,300	203,527	896,488	△20	896,468
セグメント利益又は損失（△）	△6,143	26,938	17,400	38,194	△66,824	△28,629

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	38,194
のれんの償却額	△15,371
全社費用（注）	△51,453
四半期連結損益計算書の営業損失	△28,629

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成25年10月１日　至　平成25年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	モバイルゲーム事業（注）	コンテンツ事業	広告事業	計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	486,146	139,647	241,101	866,894	－	866,894
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	1,900	1,900	△1,900	－
計	486,146	139,647	243,002	868,795	△1,900	866,894
セグメント利益又は損失（△）	54,371	11,222	17,589	83,184	△55,660	27,524

（注）当第１四半期連結会計期間より、従来の「ソーシャルゲーム事業」から「モバイルゲーム事業」へとセグメント名称を変更しています。
なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	83,184
のれんの償却額	△15,129
全社費用（注）	△40,530
四半期連結損益計算書の営業損失	27,524

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。